**2026年11月改訂（第５版）
*2026年10月改訂（第４版）

日本標準商品分類番号
873319

貯　　法：室温保存
有効期間：3年

ブドウ糖加乳酸維持液

	200mL	500mL
承認番号	30800AMX00159	
販売開始	1996年７月	2021年６月

**リプラス®G3号輸液

処方箋医薬品注)
注）注意―医師等の処方箋により使用すること

**REPLAS® G3 Injection

2．禁忌（次の患者には投与しないこと）
2.1 高乳酸血症の患者［高乳酸血症が悪化するおそれがある。］
2.2 高カリウム血症、乏尿、アジソン病、重症熱傷、高窒素血症の患者［高カリウム血症が悪化する又は誘発されるおそれがある。］

3．組成・性状

**3.1 組成

販売名		リプラスG3号輸液	
容量		200mL	500mL
有効成分（1袋中）	日局 塩化ナトリウム	0.18g	0.45g
	日局 塩化カリウム	0.298g	0.745g
	乳酸ナトリウム液（乳酸ナトリウムとして）	0.622g（0.448g）	1.56g（1.12g）
	日局 ブドウ糖	8.6g	21.5g
添加剤	pH調節剤	適量	適量
熱量		34.4kcal	86kcal

電解質濃度（mEq/L：理論値）	Na^+	K^+	Cl^-	$Lactate^-$
	35	20	35	20

**3.2 製剤の性状

販売名	リプラスG3号輸液
剤形	水性注射剤
性状	無色～微黄色澄明の液である。
pH	4.0～6.0
浸透圧比（生理食塩液に対する比）	1.0～1.6

4．効能・効果
経口摂取不能又は不十分な場合の水分・電解質の補給・維持

5．効能・効果に関連する注意
本剤を投与する場合には、患者の尿量が1日500mL又は1時間当たり20mL以上あることが望ましい。

6．用法・用量
通常成人、1回500～1,000mLを点滴静注する。投与速度は通常成人1時間当たり300～500mL、小児の場合、1時間当たり50～100mLとする。なお、年齢、症状体重により適宜増減する。

9．特定の背景を有する患者に関する注意
9.1 合併症・既往歴等のある患者
9.1.1 糖尿病の患者
血糖値が上昇することにより、症状が悪化するおそれがある。
9.1.2 心不全の患者
循環血液量の増加により、症状が悪化するおそれがある。
9.1.3 閉塞性尿路疾患により尿量が減少している患者
水分、電解質等の排泄が障害されているため、症状が悪化するおそれがある。
9.2 腎機能障害患者
水分、電解質の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。
9.3 肝機能障害患者
9.3.1 重篤な肝障害のある患者
水分、電解質代謝異常、高乳酸血症が悪化する又は誘発されるおそれがある。
9.5 妊婦
妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。
9.6 授乳婦
治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。
9.8 高齢者
投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

11．副作用
次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。
11.2 その他の副作用

	頻度不明
大量・急速投与	脳浮腫、肺水腫、末梢の浮腫、水中毒、高カリウム血症

14．適用上の注意
14.1 全般的な注意
14.1.1 使用時には、感染に対する配慮をすること。
14.1.2 注射針や輸液セットのびん針は、ゴム栓の刻印部（凹部）に垂直にゆっくりと刺すこと。斜めに刺した場合、削り片の混入及び液漏れの原因となるおそれがある。また、針は同一箇所に繰り返し刺さないこと。
14.2 薬剤調製時の注意
薬剤を配合する場合には、配合変化に注意すること。
14.3 薬剤投与時の注意
14.3.1 原則として、連結管を用いたタンデム方式による投与は行わないこと。輸液セット内に空気が流入するおそれがある。
14.3.2 容器の目盛りは目安として使用すること。
14.3.3 残液は使用しないこと。

18．薬効薬理
18.1 作用機序
本剤は水分・電解質の補給・維持効果を示す。

20．取扱い上の注意
20.1 液漏れの原因となるので、強い衝撃や鋭利なものとの接触等を避けること。
20.2 以下の場合には使用しないこと。
・外袋内や容器表面に水滴や結晶が認められる場合
・容器から薬液が漏れている場合
・性状その他薬液に異状が認められる場合
・ゴム栓部のシールがはがれている場合

22．包装
200mL 20袋　ソフトバッグ
500mL 20袋　ソフトバッグ

*24．文献請求先及び問い合わせ先
扶桑薬品工業株式会社 くすり相談室
〒541-0045 大阪市中央区道修町一丁目7番10号
TEL 0800-800-6363（フリーアクセス）
FAX 06-6969-2361
（9：00～17：30/土日祝日を除く）

26．製造販売業者等
*26.1 製造販売元
扶桑薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町一丁目7番10号